

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870501511
法人名	(株)えひめメディコープ
事業所名	グループホームとらや
所在地	新居浜市若水町2丁目7-4
自己評価作成日	平成21年7月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年8月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「笑顔のある暮らし」の理念の下、いつも笑いの耐えない家庭作りを目指してスタッフ一同頑張っています。年1回の泊旅行は、入居者皆の楽しみでも有り、続けられる限り、続けて生きたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所が地域自治会役員になったことで地域行事等のことをよく知ることができ、役員の方々とも顔見知りになり、協力等を得やすくなっている。校区の文化祭には、利用者の作品を出展されている。調査訪問時には、協力医・生協組合員ボランティアを招き、バーベキュー大会を行うことになっていた。

とらちゃん通信は、年4回発行されている。「ご家族からのメッセージ」コーナーには、ご本人がとらやに入居してからのご家族の思いを寄稿していただいたり、利用者のこれまでの暮らしぶりや趣味等を職員がご家族にインタビューして載せてある。又、「家族会をご家族主体で進行すると意見が出やすくなった」と管理者は、成果を話しておられた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームとらや

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

高次 真理

評価完了日

2009 年 7 月 30 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 頭に残るような理念を2年前全職員で検討し、それをみんなの目の届く所に掲示している。また、朝礼で、復唱するようにしている。	
			(外部評価) 「笑顔のある暮らし」を理念に掲げ、実践に向けて目標を定め、年度初めには職員で話し合いされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域自治会役員となり、月1回役員会に出席し、会の報告を組に流している。また、地域行事をいち早く知り、参加できるものは参加するようにしている。挨拶も習慣化し、顔見知りになっている。	
			(外部評価) 事業所が地域自治会役員になったことで地域行事等のことをよく知ることができ、役員の方々とも顔見知りになり、協力等を得やすくなっている。校区の文化祭には、利用者の作品を出展されている。調査訪問時には、協力医・生協組合員ボランティアを招き、パーベキュー大会を行うことになっていた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域の方の紹介や、協力医院からの見学に方のご相談にのったり、地域の主要な方が集まった運営推進会議で学習会等行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>2ヶ月に1回報告を行い、皆様からのご意見を参考にしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>運営推進会議では2回に1度、市内の他のグループホームの見学をされている。参加者は、「その事業所の何を見てくるのか(目的・視点)」を決めて、見学されており、その後には、良かったこと・採り入れたいことについて話し合い、運営に反映されている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>担当者とは、常に何かあれば意見を聞くようにしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>運営推進会議では、市の担当者の方より介護保険等、福祉の動向や行政の取組み等をお話しいただいている。又、他事業所見学の際には、市内の事業所を紹介していただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>定期学習会において年1回の読み合わせ学習を計画、スタッフ全員での現状の見直しをしている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>玄関を出入りする人が居間のモニターで見えるようになっている。管理者は、職員に具体的に「どのような声かけがいけないのか」指導しておられる。事業所では今後、講師を迎えて拘束に関する勉強会を検討されていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 身体拘束の学習とあわせ、話し合っているが、特に資料を基にしたものではない。(次回の家族会にて、講師を招き行う予定)	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 以前行ったのみとなっている。全スタッフが理解し、活用出来るにはいたっていない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 施設利用委員会を2ヶ月に1回設け、家族、役員さんに参加してもらい、内容、設備等に関して討議、改善し、反映させている。	
			(外部評価) とらちゃん通信は、年4回発行されている。「ご家族からのメッセージ」コーナーには、ご本人がとらやに入居してからのご家族の思いを寄稿していただいたり、利用者のこれまでの暮らしぶりや趣味等を職員がご家族にインタビューして載せてある。又、「家族会をご家族主体で進行すると意見が出やすくなった」と管理者は、成果を話しておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			年2回の面接を定期化しているが、遅れ気味である。個々人に関しては随時行うようにしている。	
			(外部評価)	
			事業所の職員が集まる会議で、業務や行事等について話し合われており、利用者に合わせて職員個々の勤務時間を変更されることもある。管理者・職員で話し合い、年度初めには、事業所の目標を立てておられる。又、目標の実現に向けて職員個々がさらに目標を立て、管理者と面接の上評価・遂行されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			管理者が月1回の取締役会に出席し、報告し反映するようにしている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			管理者が月1回の取締役会に出席し、報告し反映するようにしている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			管理者が月1回の取締役会に出席し、報告し反映するようにしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	
			行っている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	
			行っている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	
			行っている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	
			行っている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	
			面会、外出には制限をせずに対応している。担当スタッフとのふるさと訪問は実現していない。	
			(外部評価)	
			利用者の中には、ご家族や友人に年賀状や暑中見舞いを出す方もおられる。病院受診時、妹さんと会えるよう見計らって病院外来に付き添っておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 行っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 等施設の機関紙を郵送し、施設行事をお知らせするようにしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 話を持つ中で、行って個人のアセスメントシートに落とすようにしている。現在進行中 (外部評価) センター方式を参考に、事業所独自のアセスメントシートを作成されており、ご本人の思いや希望・現在の生活の様子等の把握に努めておられる。	通信作成時、ご家族に利用者ご本人のこれまでのことについてインタビューすることで、「知らなかった情報が沢山出てきた」と話しておられた。これらをもとにアセスメントを充実され、介護計画作成につなげていかれることが期待される。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 話を持つ中で、行って個人のアセスメントシートに落とすようにしている。現在進行中	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族は個人的に。また、主治医、スタッフとは月1回カンファレンスを持ち、計画に繋げている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は3ヶ月毎に見直しされている。ご本人の現在の状態と介護の実際について、毎月モニタリングされており、モニタリングの様式については、職員と話し合いを重ねて改良されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>行っている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ややマンネリになっている。柔軟とは言えない。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	行っている。	
			(外部評価)		
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	行っている。	
			(外部評価)		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	行っている。	
			(外部評価)		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	日々様子を見ながら行う様にしている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			年1回学習しているが、全ての職員が身につけているとは言えない。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			運営推進会議で、防火訓練に参加してもらい、対応方法等確認しあっている。	
			(外部評価)	
		事業所では年3回、火災時の避難訓練を実施されている。(2回はデイと合同・1回はホームで夜間想定) 今後は車椅子利用の方の避難についての訓練をする予定となっていた。	避難通路について、運営推進会議時で話し合わせ、隣家の協力を得て、裏庭に通路を設ける予定となっていた。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			出来る限り行うようにしている。	
			(外部評価)	
		ケア会議では、利用者に対する言葉かけや対応について、職員で話し合われている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			出来る限り行うようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	出来る限り行うようにしている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	出来る限り行うようにしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	工夫をしながら行っている。	
			(外部評価)	献立は毎日立て、利用者と食材を買いに出かけておられる。買い物途中、利用者が食べたいものがある場合は、変更となる場合もある。利用者が、テーブルを拭いたり配膳をされている様子うかがえた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	その日その日の体調を観察しながら、内容、量を決めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	毎食後の対応は出来ていない。現在は、最低1日に1回は必ずとし、昼1回、スタッフが見守りしながら行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)		
				行っている。	
			(外部評価)		
				記録でパターンを把握して、トイレ誘導されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)		
				行っている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)		
				行っている。	
			(外部評価)		
				入浴は概ね2日に1度となっており、利用者は2時から5時の間に入浴されている。お風呂に入りたがらない利用者の方には、医師からお風呂に入るよう、ご本人に話してもらうこともある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)		
				行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 行っている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 取り入れるようにはしているが、小まめには行えていない。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 地域の方とのかかわりは薄いですが、出来る限り行うようにはしている。	
			(外部評価) 6月には、ご家族・ボランティアの協力を得て、東予国民休暇村に一泊旅行に出かけられた。皆さん楽しみにしておられ、積立貯金をされており、これで3回目となっている。月に1度は、計画を立てて、季節のお花を見に行かれたり、外食にみなで外出されている。日々の食材の買出しや散歩の他、近くの歯科受診時は出来るだけ歩いて行くようにされている。	利用者の行ってみたいところや会ってみたい人を探り、事業所からも支援できるような取り組みが期待される。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 行っている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>旅館を改装したホームで、廊下やふすま等に趣きがある。テラスには、ソファやいすがあり、週刊誌・お茶等も用意されている。トイレや居室には、ご本人の動きに合わせて目印が付けてある。2階の階段には滑り止めをつけており、2階トイレにつながる廊下には足元照明やセンサーが取り付けられている。事業所では、2階に上がる階段に重度化に対応するために、リフトを付けることを検討されていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>行っている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には、使い慣れた家具やテレビ等も持ち込まれている。三味線を持ってきている方は、「たまには稽古しないと忘れてしまうでしょう」と話しておられた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>行っている。</p>	